

令和7年7月3日発行（第190号）

こうじえん

普及センターだより

# 耕耳苑

いわてアグリ  
ベンチャーネット  
にも掲載中！

宮古農業改良普及センター TEL：0193-64-2220 FAX：0193-64-5631  
岩泉普及サブセンター TEL：0194-22-3115 FAX：0194-22-2806  
いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



## コンテナ活用によるブロッコリー包装資材の コスト低減実証を開始

宮古地域のブロッコリーは、氷+発泡スチロール包装資材により高鮮度で出荷されていることから、高い市場評価をうけています。一方、近年の資材価格高騰のために、出荷コストの増大が課題となってきました。この解決策として、従来の発泡スチロール容器に代わり、再利用可能なコンテナの活用実証が令和6年度から進められています。

令和6年度の調査では、コンテナ出荷でもブロッコリーの品温が適切に保たれることを確認しました。これにより、令和7年度には一定期間コンテナ出荷を継続し、品質への影響、作業性、流通上の課題などについて検証することになっています。

6月6日には、コンテナで実際に出荷するにあたっての現地調査が行われ、生産者による実際の箱詰め作業の状況や、箱詰めから集荷・トラック積載までのコンテナ内の温度・湿度変化が確認されました。流通実証の結果は、今後の実績検討会等で生産者と共有し対応を検討する予定です。

【担当：松浦】



## 宮古水産高校で食の匠による郷土料理講習会を開催

宮古地方食の匠の会（熊谷裕美子会長）は、宮古水産高校と共催で、6月20日に標記講習会を開催しました。対象は同校食物科1年生22名で、食の匠認定料理の「麦ぞうすい」を神楽栄子さんが、「ワカメの茎の佃煮」を熊谷裕美子さんが講師になり、調理実習を行いました。また、他の食の匠6名と先生方が生徒の調理をサポートしました。

生徒たちは入学して、まだ3カ月目ということで、経験の少ない中ワカメのそぎ切りやごぼうのささがきなど様々な切り方を実習することができました。調理中は食の匠と「味付けに興味がある」「将来は食の仕事がしたい」といった会話があり、実習後、食の匠からは「目標に向かって頑張っていて欲しい」「この中から、将来、シェフやパティシエが出て来るのが楽しみ」など激励の言葉がありました。

【担当：佐藤】



# 夏季高温時の農作物等の栽培管理について

近年は夏季が高温となる年が続いており、農作物等に様々な影響を及ぼしています。直近の3カ月予報(6月24日気象庁)でも気温が「高い」予報であり、高温による農作物等への影響が懸念されます。今後の気象情報に注意し、被害の未然防止や軽減を図るための対策を適切に行いましょう。

|   |   |
|---|---|
| <p>水<br/>稲</p>                          | <p>水稲は出穂期から20日間の間に高温(日中30℃以上、夜間23℃以上)に当たると、白未熟粒(シラタ)が発生し、玄米品質が低下します。出穂後の高温時の対策は以下のとおりです。また、幼穂形成期頃の追肥は登熟期間中の肥切れを抑制し品質向上につながります。</p> <p><b>1 水管理</b>: 出穂期から20日間は間断灌漑で落水期間を必ず設け、根に酸素を供給しましょう。また、入水を夜間に行うと、稲体の消耗が抑制され、高温障害を軽減できます。</p> <p><b>2 適期収穫に向けた準備</b>: 刈遅れは品質低下につながりますので刈り取り時期が早まっても対応できるように機械の点検等、刈取準備は早めに済ませましょう。(昨年度、宮古管内の刈取始期は9月第3半旬頃) <span style="float: right;">【担当:川原田】</span></p>  |
| <p>野<br/>菜<br/>・<br/>花<br/>き</p>        | <p><b>○かん水</b><br/>高温期のかん水は2~3ℓ/株/日程度が一つの目安です。圃場によって必要なかん水量は異なりますので、pFメーターを活用することでより効果的な水管理ができます。</p> <p><b>○換気</b><br/>ツマ面を開放するとより効率的に換気を行うことができます。また、ハウスの肩部分を開放し換気をすることも効果的に温度を下げる効果が期待できます。</p> <p><b>○遮光</b><br/>遮光率30%の遮光資材を屋根ビニール上に被覆することにより、日最高気温が2~5℃程度低下・高温・強日射の抑制の効果が見込め、障害果や落花の減少等が期待できます。</p> <div style="text-align: right;">  <p>【担当:松浦】</p> </div> |
| <p>果<br/>樹<br/>(<br/>りん<br/>ご<br/>)</p> | <p><b>1 夏季管理</b><br/>りんごは、7~8月が翌年の花芽形成期です。日光や薬剤が樹幹内部まで通るように誘引や徒長枝の整理を行い、受光体制の改善に努めましょう。また、計画的に摘果を進め、早期に適正な着果量にします。</p> <p><b>2 日焼け対策</b><br/>日最高気温がおよそ32℃以上で、果実に日焼けが発生するとされています。過度な葉摘みは避け、新梢や被覆資材を利用しながら、果実の表面温度が急激に上昇しないように努めましょう。</p> <p>○被覆資材…極早生品種「紅ロマン」では、日焼け軽減対策として、果実への白色化繊布(商品名:サンテ®)の被覆が有効です。ただし、収穫まで被覆していると着色に影響するため、収穫の数日前に必ず取り外します。</p> <p style="text-align: right;">【担当:佐々木(絢)】</p>   |

|       |   |
|-------|---|
| 飼料用作物 | <p><b>牧草の収穫は暑熱期を避けるとともに、収穫時の刈取高さに注意しましょう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オーチャードグラスやチモシー等のイネ科寒地型牧草の生育適温は 20~25℃程度で、これ以上暑くなると生育が停滞し、再生不良、ひどい場合には枯死する恐れがあります。</li> <li>○牧草の再生を促すために、刈取り高さ(=刈り残し高さ)は、最低でも 10 cm (握りこぶし 1 個分)残し、暑熱時は更にやや高め(15cm)にします。</li> <li>○暑熱・干ばつ時の刈取りで、しばらく降雨が見込めない場合は、肥料焼けを避けるため化学肥料の追肥を可能な限り見合わせます。</li> <li>○牧草の株が減少している場合、年内ならば 8 月下旬~9 月中旬にオーチャードグラスなどの永年生牧草を追播します。 【担当:西田】</li> </ul> |
| 畜産    | <p><b>畜舎の暑熱対策は、断熱、遮光、送風、換気が基本です。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○暑熱ストレスによる飼料摂取量の低下、泌乳量や受胎率の低下など生産性への影響がみられます。</li> <li>○屋根に当たった日光による輻射熱で牛舎内の温度が上昇します。ドロマイト石灰や遮熱塗料などを屋根表に塗布することで、輻射熱が低減します。屋根裏への断熱材吹き付けや屋根表への散水(天気の良い日中)も輻射熱の低減に有効です。</li> <li>○寒冷紗等で日射しを遮ります。</li> <li>○換気扇の設置・増設をします。設置済みの換気扇にホコリが多く付着していると換気効率が落ち、電気代の増加にもつながるので、掃除をして使用します。 【担当 西田】</li> </ul>   |

## 水稻の生育状況と今後の栽培管理について

### 1 気象経過

平均気温は5月第5半旬に平年を下回ったものの全般に平年並みから平年を上回りました。

### 2 生育状況(山田町豊間根の生育診断圃 6/25 調査結果)

6 月も好天が続き、草丈、茎数は平年を上回り、葉数、葉色は平年並みとなっています。

| 品種     | 草丈         |            |             | 茎数                        |                           |            | 葉数        |           |            | 葉色 (SPAD) |      |     |
|--------|------------|------------|-------------|---------------------------|---------------------------|------------|-----------|-----------|------------|-----------|------|-----|
|        | 本年<br>(cm) | 平年<br>(cm) | 平年差<br>(cm) | 本年<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 平年<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 平年比<br>(%) | 本年<br>(枚) | 平年<br>(枚) | 平年差<br>(枚) | 本年        | 平年   | 平年差 |
| あきたこまち | 46.4       | 41.1       | 5.3         | 586                       | 454                       | 129        | 8.1       | 8.5       | -0.4       | 43.8      | 43.6 | 0.2 |
| 銀河のしずく | 52.8       | 45.4       | 7.4         | 556                       | 463                       | 120        | 8.6       | 8.3       | 0.3        | 40.1      | 40.1 | 0.0 |

### 3 今後の栽培管理のポイント

高温障害対策のため、追肥で登熟に必要な養分を補給し、水位や水温調節により、根の活性を維持することで、温度変化に対応しやすくなります。

#### ① 生育ステージに合わせてきめ細やかな水管理を行いましょう

- ・高温が予想されていますので、基本的には間断灌漑(2~3 日湛水、1~2 日落水)を行います。ただし天候の急変に備えるため幼穂形成期(7月中旬)は、深水管理できるよう準備を行いましょう。
- ・減数分裂期(7月下旬)に低温が予想される場合は継続して深水管理を行います。
- ・出穂開花中は 2~3cmの浅水で十分に水を供給しましょう。
- ・出穂期から 20 日間は間断灌漑で落水期間を必ず設け、根に酸素を供給しましょう。また、入水を夜間に行くと、稲体の消耗が抑制され、高温障害を軽減できます(再掲)。

#### ② 葉色の低下を確認したら、幼穂形成期に窒素成分1~2kg/10a の追肥を行いましょう。

【担当:川原田】

## 無理せず作業して 熱中症を予防しましょう

令和6年度の夏季(5~9月)において、田畑等で農作業中に熱中症によって救急搬送された人数は、2,322人と直近5年で最多となりました。また、気象庁の予報によると、令和7年度も日本の多くの地域で例年より暑くなることが予想されており、より一層の熱中症対策が必要です。

- 20~30分おきに休憩と水分・塩分補給を行う。**絶対に無理をしない、頑張りすぎない**
- 単独作業は避ける(または家族が巡回する、携帯電話を持つ)
- 熱中症対策アイテムを活用する
- 立ちくらみや脱力感を感じたらすぐに作業を中断して、涼しい場所で水分・塩分を補給する

今回は、「熱中症対策アイテム」について特集した農林水産省のHPをご紹介します。右のQRコードからご覧ください。【担当:戸田】



熱中症対策アイテムの紹介  
(農林水産省 HP)



## 農薬危害防止運動 実施中です！

令和7年6月1日(日) ~ 8月31日(日)

「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

農薬とその取扱いに関する正しい知識を持ち、安全で適正な使用と保管管理を行い、使用現場における周辺への配慮等を徹底することで、農薬の不適正な取扱いやそれに伴う事故等を未然に防止しましょう。

- 農薬ラベルによる使用方法の確認を徹底しましょう。
- 土壌くん蒸剤の使用に当たっての安全確保を徹底しましょう。
- 住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮及び飛散防止対策を徹底しましょう。
- 誤飲、盗難等防止に向けた適切な保管・管理を徹底しましょう。



農薬やその希釈液、残渣は、ペットボトル等の飲食品の空容器等へ移し替えないこと!!

【担当:佐々木(絢)】

## ワンストップ就農相談会のお知らせ

宮古地方農業振興協議会では、今年度から宮古地方ワンストップ就農相談会を開催します。

この相談会は、宮古地方で「就農を希望する方」、「将来的に就農することを考えている方」、「職業としての農業に興味がある方」等が、就農に関すること(栽培品目、農地、資金、研修制度等)を、関係機関にワンストップで個別相談できます。

相談会は完全予約制です。オンライン利用によるリモート相談も可能ですので、ぜひお申込ください！また、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介・お声がけをお願いいたします！

今後の開催情報は以下の通りです。

- 日時：令和7年9月10日(水)、12月10日(水) 13:30~16:00
  - 場所：宮古地区合同庁舎(宮古市五月町1-20)他
- 詳細につきましては右側のQRコードからご確認ください。



### (編集後記)

令和7年7月号耕耳苑をお読みいただきありがとうございます。

6月から本当に暑い日が続いていますが、皆さん体調は大丈夫でしょうか。私は、水筒がからっぽになっても気にせず仕事して、倒れそうになったことがあります。記事にも書きましたが、無理は絶対にだめです。健康が一番の収穫ですからね。それでは、次回号もお楽しみに。(戸田)